

私と認知症診療

- 都立松沢病院時代（平成16年4月～）
3年間、認知症精神科専門病棟、認知症専門外来を担当
- 海上寮療養所
平成21年4月より物忘れ外来を開設。
平成21年11月より、認知症に対する精神科訪問診療を開始

松沢病院認知症病棟の概要

総ベッド数30床

（認知症枠25床＋精神科枠5床）

精神科医2名（臨床専門研修医1名）

看護師19名

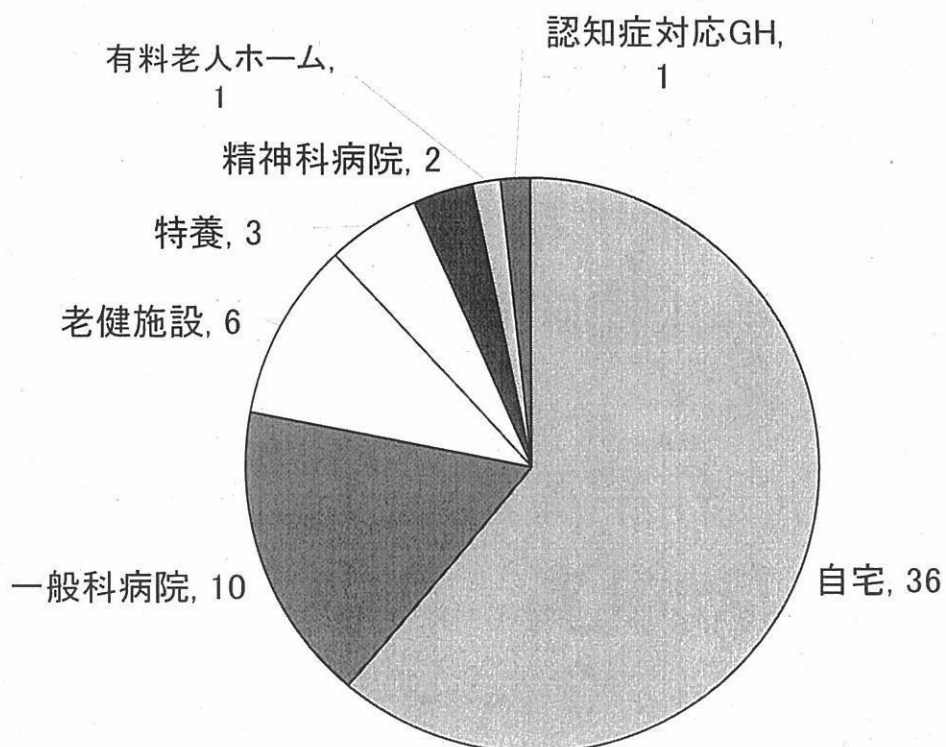
心理士1名 作業療法士1名

ケースワーカー1名

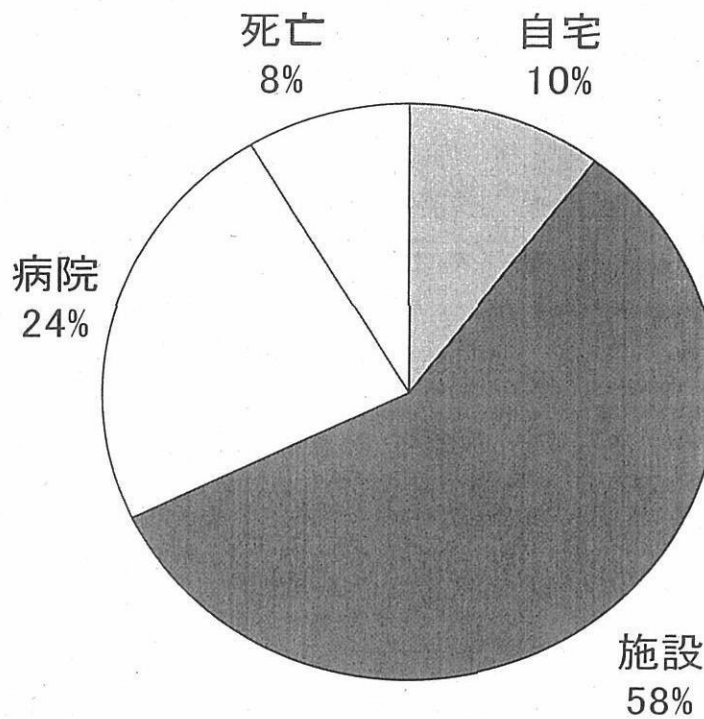
私が担当していた間に

- 3年間で177名を入院加療
- 認知症対応の稼働病床は、25床
→平均入院期間は約5ヶ月間

ある年度の入院前の居所



ある年度の転帰から



ある年度の転帰から

- 精神症状が比較的良好にコントロールされたケース
約7割、うち1割が自宅への退院
- 精神症状のコントロールがあまりうまくいかず、もしくは身体合併症のために継続的に医療的管理が必要となったケース
約2割
- 精神症状のコントロールができず、死亡するまで在院したケース 約1割

早期退院のために

- ・入院前から積極的なケースワーク
- ・退院先に「もし状態が悪化したら、すぐに再入院できること」を確約する

～実際に再入院したケースは、
3年間で数例のみ～

精神科病棟への入院のデメリット

- ・「精神科病院に入院させられた」ことに反応して、BPSDが増悪する可能性があること
- ・「生活の場」ではないので、本人の残された能力を生かすような病棟運営が出来にくいこと
- ・認知症の方と統合失調症の方を混在させることによる不都合があること